MP-39+ CYBERTRON ASSAULT & RESCUE SPINOUT

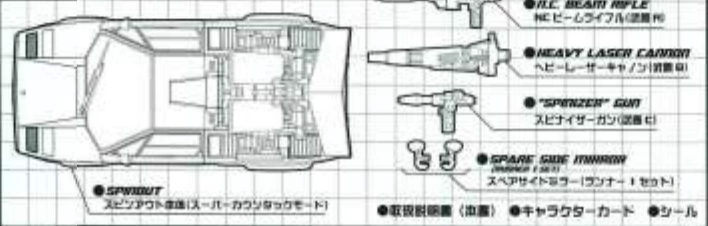
ランボルギーニ カウンタック LP 500 S
トランスフォーマー　マスターピース
サイバトロン/強襲救助員　スピンアウト

この度は、タカラトミー「トランスフォーマー マスターピース MP-39+ スピンアウト」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書(本書)をよくお読みください。また、読み終わった後は必ず保管しておいてください。

■「取扱説明書」■

※写真及びイラストは、商品と異なる場合があります。

CONTENTS セット内容



●取扱説明書(本書)　●キャラクターカード　●シール

⚠注意

●この商品は対象年齢15才以上です。小さなお子様には絶対に与えないでください。●小さな部品がありますので、誤って飲み込むなど思わぬ事故の危険がありますので小さなお子様には絶対に与えないでください。●尖っている部品があります。取り扱いには十分注意してください。●付属の武器で人をつつく、たたく等の乱暴な遊びをしないでください。●ロボットの関節などに指をはさまないようご注意ください。●ぶつけたり、振り回すなどの乱暴な遊びをしないでください。●可動部のスキマには指などを入れないでください。はさまれてケガをする恐れがあります。●プラスチック袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。●不測の事故の恐れがありますので、ご使用後は3才未満のお子様の手の届かないところに保管してください。

(使用上の注意)○ご使用の前に、取扱説明書(本書)をよくお読みください。また、読み終わった後は必ず保管しておいてください。○ニッパーやカッターなどの工具を使うときは、十分注意してください。○各パーツは無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。○本体を上から押し付けないでください。本体が倒れたり、部品が外れたりする場合があります。○本体をディスプレイする時は、本体が倒れる恐れがありますので不安定な場所にディスプレイしたり、安定性の悪いポージングでディスプレイしないでください。○本体を持ち運ぶ際は取付けた部品等を持たず、本体をしっかりと持って持ち運んでください。○製品の仕様上、変形の動作を行うと彩色部が剥がれたり、色移りする場合があります。また変形時や部品のつけ外しの際に部品が白くなる事があります。予めご了承ください。○本製品を樹脂製の家具等の上に長時間置くと色が移ったり、貼り付いたりする場合があります。○包装材は開封後すぐに捨ててください。

対象年齢15才以上

TAKARA TOMY

株式会社 タカラトミー
〒124-8511 東京都葛飾区立石 7-9-10
タカラトミーグループお客様相談室
0570-041031

ドアの開閉
左右のドアを上にスイングして開けることができます。

ボンネットの開閉
ボンネットを開けることができます。

リトラクタブル・ヘッドライトの開閉
図の車体底面のボタンを押し込むことで、リトラクタブル・ヘッドライトが開きます。閉じるときはライトを上から押し込みます。

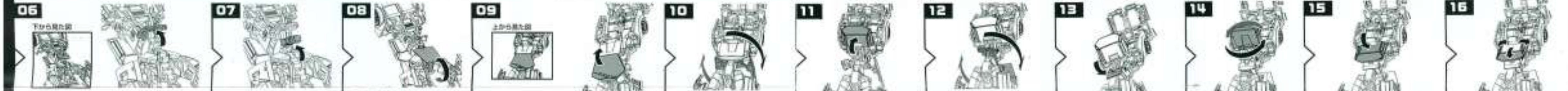
LP 500 Sモードへの変形
ビークルモード(スーパーカウンタックモード)
※武器が付いている場合は、取り外してください。

01 左右のドアをスイングして開け、クォーターウィンドウ部分のジョイントを外し左右に開きます。
02 スーパーチャージャー部分を上に開きます。
03 スーパーチャージャー部分を矢印の方向から180°回転させて裏返します。※スーパーカウンタックモードへ戻すときは、最後に図のパーツを後ろに倒してください。
04 エアインテークを斜めにします。
05 スーパーチャージャー部分を閉じます。
06 図のパネルを下ろします。
07 クォーターウィンドウ部分を閉じてジョイントで固定し、ドアを下ろします。

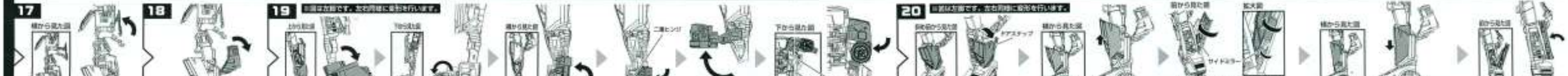
08 ウイングの付け根を前にスライドします。
09 左右のテールランプを起こします。
10 左右のテールランプを倒し、収納します。
11 **LP 500 Sモード完成**
変形前の状態へ戻す場合は番号を逆にたどってください。

ロボットモードへの変形
ビークルモード(LP 500 Sモード)
トランスフォームスタート!!

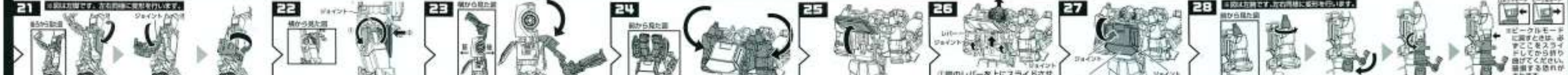
01 左右のドアをスイングして開け、クォーターウィンドウ部分のジョイントを外し左右に開きます。
02 スーパーチャージャー部分を上に開きます。
03 ジョイントを外し、さらに開きます。
04 車体側面部を左右に開き、脚部を出します。
05 脚部を下ろし、伸ばします。



06 図のパネルを起こします。
07 フックを起こします。
08 ボンネットを両腕の間から通し、折り曲げます。
09 フロントウィンドウを上げます。
10 フロントウィンドウ付け根の腰部を90°回転させます。
11 ルーフを起こします。
12 フロントウィンドウ付け根の腰部をさらに90°回転させます。
13 図のパネルを倒します。
14 ルーフを180°回転させます。
15 ルーフを倒し、胸部にします。
16 ウィンドウ部分を下ろします。



17 フロントウィンドウを上方向に上げて畳みます。
18 左右のクォーターウィンドウ部分を90°倒します。※左右同様に行います。
19 ※図は左脚です。左右同様に変形を行います。
図の位置までフロント部分を倒します。
かかとパーツを展開します。
タイヤ部分を起こします。
タイヤ部分を可動させ、折り畳みます。
足首の付け根部分を90°回転させ、起こします。
足パーツを倒し、ジョイントで固定します。
20 ※図は左脚です。左右同様に変形を行います。
ドアステップ部分を少し外側に開きます。※ドア部分で回転させると破損する恐れがあります。
ドアを上げます。
ドアウィンドウを内側に畳みます。※サイドミラーも連動して可動します。※サイドミラーの破損にご注意ください。
サイドミラーが脚部に干渉しないよう注意しながら、ドアを下ろします。
ドア部分全体を閉じます。



21 ※図は左腕です。左右同様に変形を行います。
図のパネルを倒します。
クォーターウィンドウ部分を倒し、ジョイントで固定します。
クォーターウィンドウ部分を倒します。
22 ①左右のスカートを前面に回転させます。※左右同様に行います。②後ろスカートをジョイントで固定します。
23 スーパーチャージャー部全体を背面に倒します。
24 腕部を左右に開き、下ろします。
25 胸部を起こします。
26 ①図のレバーを上にスライドさせ、頭部を出します。※戻すときは頭部を押し込んでください。②胸部のジョイントを起こします。
27 胸部を閉じ、胸部のジョイントで固定します。
28 ※図は右腕です。左右同様に変形を行います。
腕上部の図のパーツを180°回転させます。※切欠きのある面が内側にきます。
拳を可動させます。※連動して側面のパネルが開きます。
腕部を可動させ、肘を伸ばします。
肘の付け根をスライドし押し込みます。
※ビークルモードに戻すときは、必ずここをスライドしてから折り曲げてください。破損する恐れがあります。

図のパネルを倒します。
図のパネル全体を起こします。
上腕部の付け根で、90°回転させます。
親指と他の指を可動させ、少し開きます。
29 **スーパーチャージャー部の変形**
図のパーツを倒します。
30 図のパーツを上げます。
31 図のパネルを回転させます。
32 スーパーチャージャー部分を倒します。
33 左右のテールランプを可動させ引き出します。※左右同様に行います。
34 左右のテールランプを倒します。
35 ウイングを回転させ、上方向に開きます。
36 ウイングを片方ずつ下方向に回転させます。
37 バックパックを180°回転させ、裏返します。

38 図のパーツを倒します。
39 バックパックを倒します。
40 ウイングをフロントウィンドウの下に滑り込ませるように調整し、バックパックを少し上に持ち上げます。
41 背中のフックを起こし、バックパックにジョイントして固定します。
42 **ロボットモード完成**
変形前の状態へ戻す場合は番号を逆にたどってください。

シールの貼り方
カーロボット仕様シール　トランスフォーマー 玩具・コミック仕様シール
ビークルモード　ロボットモード　右脚　左脚　右腕　左腕
上図を参考にシールを貼ってください。
※一部は MP-39 サンストリーカー(別売)用の玩具・コミック仕様シールです。
※⑦、⑧はお好きな箇所に自由に貼ってください。

サイドミラーの交換
ロボットモード
クォーターウィンドウ部分を起こし、ドア部分全体を外側に開き、上に上げます。
サイドミラーを図の方向に外し、スペアサイドミラーをランナーからきれいに切り離し、図の方向にセットします。

© TOMY

THE TRANSFORMERS MASTERPIECE
取扱説明書

MP-39+ CYBERTRON ASSAULT & RESCUE SPINOUT

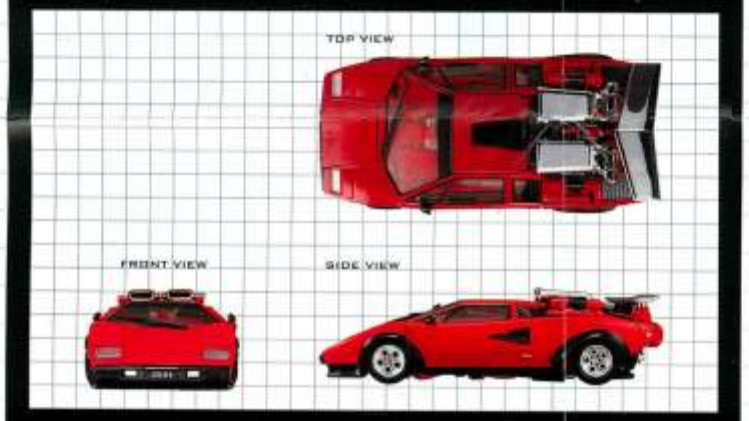
ランボルギーニ カウンタック LP 500 S
トランスフォーマー　マスターピース サイバトロン強襲救助員 スピンアウト

LAMBORGHINI

LAMBORGHINI COUNTACH LP 500 S ランボルギーニ カウンタック LP 500 S
VEHICLE MODE

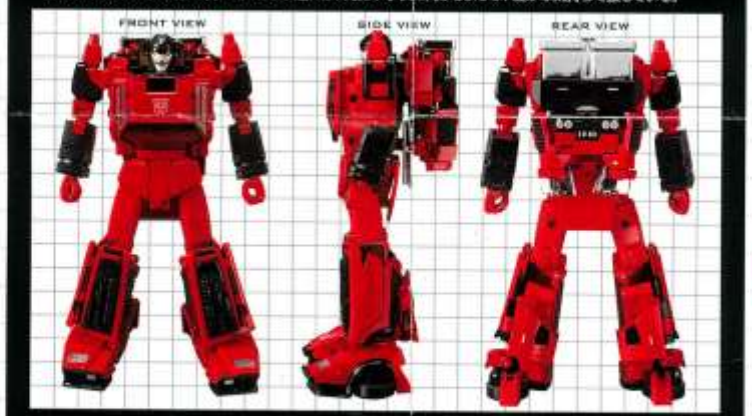
スピンアウトのビークル形態であるランボルギーニ カウンタック LP 500 Sの姿は、彼の出自の謎とパラドックスを最も色濃く示す要素である。その概要は、以下に詳しい。

【デルタマグナスの私的記録】：古代サイバトロンの膨大な記憶データを保存した外宇宙探設<ダイアデム>を確保する我々の突入作戦は、やはり最悪の展開をたどった。デストロンとクインテッサ星人を交えた乱戦により施設は大破…貴重な情報の多くが失われた。コルドンの原初記憶を回収できたのは幸いだが、彼はそれをインストールする気はないようだ。そして我々が得たものは…予想とはまるで違う、セイバートロン星の歴史観を揺るがす物証だった。ダイアデム深奥で発見した1体のロボット<スピンアウト>は、停時チェンバー内で1千万年近く保存されていた。つまりそれ程の過去から、地球のビークルに変形するオートボットがこの世に存在した事になる！　どういう事なのか？ダイアデムの電子頭脳<アンテリア・ゼータ>（Anterior　Zeta）の記録によると、スピンアウトは本来別次元の地球の戦闘マシンであり、何らかの時空変動で我々の過去世界に投げ込まれた漂流者だった。<ダイアクロン>――それが、スピンアウトの所属していた勢力の名だ。彼らの宇宙艦を解析したゼータは、ダイアクロンとその敵<ワルダー>との戦いの物語に触了されたようだ。あるいは既に狂っていたのか、乗っ取られたか…とにかく、ゼータはダイアクロンの使命を我々に引き継がせようと考え、秘密の施策を行なった。ワルダーの存在を感知するや、最優先で自動的機識行動を取らせる遺伝子的コマンドを作成し、全世界のリペア装置ネットワークを介して伝播したのだ。我々種族にそんな介入がなされていたとは信じ難いが、既に実例がある。ワルダー軍団のプローブ・インセクターと遭遇したストリークが変異をきたした、<ブルーストリーク事件>がそれだ。対策せねばならない！　ワルダーが左様に邪悪な脅威ならば、どのみち戦うだろう。だがそれは、我々自身の意志と覚悟によって成すべきなのだ！



SPINOUT スピンアウト
ROBOT MODE

●役割……強襲救助員
●座右の銘……「些末な細部にて歴史を引き延ばすこと適わず」
●プロフィール
スピンアウトの座右の銘は、古代ローマの歴史家アンミアヌスからの引用で、彼の名の由来でもある（spin　out = 引き延ばす）。そう名乗る前の呼び名は、<カーロボット No.1 カウンタック LP 500 S スーパーチューニング>。彼は別次元の地球防衛隊の戦力として作られた、人間によって操縦されるロボット兵器であった。ある時、彼のカーロボット隊は邪悪な悪の軍団の<タイムホール作戦>を食い止めるべく、敵・時空ミサイル戦闘艦の直援作戦に動員された。だが宇宙での戦いは混迷し、遂には複数の時空ミサイルの暴発から生じた特異点が、その場の全てを呑み込んでしまった。大破した宇宙艇が流れ着いたのはくトランスフォーマー>の世界、しかもその1千万年も過去の時代だった。サイバトロンの宇宙警設ダイアデムが彼らを発見・修復し、その電子頭脳・アンテリア・ゼータはベクターシグマから拝領した貴重なライフギビング・プログラムの備蓄を、最も損傷の少ない機体<CR-01>に使用し彼に命を与えた。彼は体内に特殊なコマンドを刻んだCNA（ロボット生命体の遺伝子にあたるサイバー・ナノ・アルゴリズム）を持つ。それは敵の脅威を重く見たゼータが、当時内戦中のセイバートロン同胞を「敵の対抗勢力」として統一せんと計画、作成したものだ。停時チェンバーの眠りから1千万年ぶりに起動したスピンアウトは、彼の存在が別世界の種族にただならぬ影響を与えていた事実を知り、サイバトロンの監視対象となる事を受け入れた。それでも彼は、地球人が危機に見舞われた際などには躊躇いなく駆け出したりもする。また、監視役のタイガートラックや<前芸>の仲間の面影を持ったロボット達には、兄弟や子供に向けるような、暖かな気持ちで接している。



※データ・説明等は設定上のものです。

N.C. BEAM RIFLE NCビームライフル（武器A）
WEAPON

大型のエネルギー銃、NC（ニューカウンタック）ビームライフルは、本来<CR-01>の正式装備ではない。宙ポケミサイル艦の護衛作戦に出撃した際、搭載のカーロボットが使用していたものだ。強力なエレクトロン・ビームを放つ超兵器なるも、デバイス詳細の紛失部のため宙では最大の威力を発揮させる事ができない。だが宙は、高性の友人の形見としてこれを肌身離さず携行している。

武器Aの携帯と収納

HEAVY LASER CANNON ヘビーレーザーキャノン（武器B）
WEAPON

後の構造の中で、最も大きく強固されたのが機銃をジュールである。多機能ランチャーとしての機構は廃棄され、誘導ミサイルも形のみを残し重レーザー砲に置き換えられた。これは後の乗船である宇宙船の搭載兵器を改造・転用した強力火器だ。

武器Bの携帯と装着

"SPINIZER" GUN スピナイザーガン（武器C）
WEAPON

地上戦の機動力を打ち消し、転倒やコースアウトを誘う力場兵器。飛行型の敵が多いデストロンよりも、むしろサイバトロンに有効な武器であるこの銃は、スピンアウトを信頼する証としてサイバトロン軍が特別に贈ったものである。係らの中にも、時系列的に「最初のトランスフォーミング・オートボット」と見做しうるスピンアウトに何らかの敬意を示すべきとする声があるように

武器Cの携帯と収納

TAIL GUN テイルガン
WEAPON

遺伝子に潜むリスクゆえにスピンアウトの銘柄が明かれる事はないが、人格の面で彼が同胞の信頼を勝ち得るのに、そう時間はかからなかった。戦闘的価値こそ高くないものの彼は注目を引く存在であり、基準のための復元論が認められている。車体重部の電撃銃も、そうして追加された。

テイルガンの展開

The "Lamborghini" and "Lamborghini Bull and Shield" trademarks, copyrights, designs and models are used under license from Automobili Lamborghini S.p.A., Italy.